

令和3年

# 別府市特別功勞表彰



11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。「特別功勞表彰」を受賞された4人の方々、「功勞表彰」を受賞された30人4団体の方々を紹介いたします。(順不同)



宮光 房子さん

ボランティアグループ「わたげの会」の代表として昭和51年から45年間にわたり、視覚に障がいのある方や高齢の方に、別府市の様々な情報を知ってもらう機会を創出する「声の市報」の作成を牽引された。これにより、行政サービスがより公平に享受されるとともに、地域の共生社会の早期構築実現に貢献された。



友永 瑤子さん

平成6年から民生委員児童委員の職に就き、地域住民とのパイプ役として行政等関係機関と密に連携をとり、一人暮らし高齢者や高齢世帯などの見守り、支援を続けられている。また、平成28年から民生委員児童委員協議会の副会長として牽引されるなど、地域福祉の向上に貢献されている。



豊田 憲生さん

平成15年から4年間、別府市緑化協会の会長として、平成27年度からは顧問として、協会の技能の向上などに取り組み、協会発展に寄与されている。また、自身が経営する造園会社では、企業の社会貢献活動として平成19年度から平成27年度にかけて、地域の子どもたちを対象としたものづくり体験会の開催や市内の施設で剪定作業を行うなど、緑化行政や地域づくりに貢献された。



堀 精治さん

別府市旅館ホテル組合連合会の専務理事兼事務局長として、混浴温泉世界フェスティバル実行委員会や、おんせん県おおいた・別府型ドリームプロジェクト中央委員会など、様々な地域振興の活動を支援された。またハラル・ムスリムのセミナー開催や、大分・おんせん観光インバウンド対応人材育成事業の運営委員として、インバウンド観光客のおもてなしができる人材の育成に尽力されるなど、地域の観光・産業などの発展に貢献されてきた。

表彰式を開催しました  
11月3日(水・祝)



▲受賞者のみなさん



▲代表謝辞を述べる宮光さん

令和3年

## 別府市功勞表彰

(敬称略・順不同)

### 自治部門

久保賢一 甲斐文明 永富絹代

塩崎サツキ 角田吉久 諸岡研二

### 公共福祉部門

大野泰徳 高原豊彦 伊藤勝記

吉松諄 梶川不二夫 朝見進

森田哲也 松林隆通 吉田彰子

首藤初美 後藤一彦 荒金修司

木村恭介 鶴田浩 中島浩

佐藤隆太 沖崎明 小田勝美

二宮唯儀 生永美徳

### 教育・文化・スポーツ部門

池邊栄治 今山靖之

茶木康寛 川崎絢平

### 市民活動部門

日本民踊研究会九州支部

パペットキッズ

つるみボランティアグループ

東荘園町青壮年会

## 特別功労表彰

氏名 (敬称略)	宮光 房子
役職等	ボランティアグループ「わたげの会」前代表
功績内容	ボランティアグループ「わたげの会」の前代表として昭和51年から45年間にわたり、視覚に障がいのある方や高齢の方に、別府市の様々な情報を知ってもらう機会を創出する「声の市報」の作成を牽引された。これにより、行政サービスがより公平に享受されるとともに、地域の共生社会の実現を早期から構築し、尽力された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	友永 瑤子
役職等	別府市民生委員児童委員協議会副会長 別府市更生保護女性会会長
功績内容	平成6年から民生委員児童委員の職に就き、一人暮らし高齢者や高齢世帯等の見守り、支援を続け、地域住民のパイプ役として行政等関係機関と密に連携をとり、平成28年から協議会の副会長として牽引し、地域福祉の向上に貢献されている功績は多大である。

氏名 (敬称略)	豊田 憲生
役職等	元別府市緑化協会会長 別府市緑化協会顧問
功績内容	平成15年から4年間、別府市緑化協会の会長として、平成27年度からは顧問として、協会員の技能の向上等に取り組み、協会発展に寄与されている。また、自身が経営する造園会社では、企業の社会貢献活動として平成19年度から平成27年度にかけて、地域の子どもたちを対象としたものづくり体験会の開催や市内の施設で剪定作業を行うなど、緑化行政や地域づくりに貢献された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	堀 精治
役職等	前別府市旅館ホテル組合連合会事務局長兼専務理事
功績内容	別府市旅館ホテル組合連合会の専務理事兼事務局長として、長年にわたり別府観光や産業の発展に寄与され、混浴温泉世界フェスティバル実行委員会や、おんせん県おおいた・別府型ドリームプロジェクト中央委員会など、様々な地域振興の委員会活動を支援された。また、ハラール・ムスリムのセミナー開催や、大分・おんせん観光インバウンド対応人材育成事業の運営委員として、インバウンド観光客のスムーズな対応とおもてなしができる人材の育成に尽力されるなど、地域の観光・産業等の発展に貢献されてきた功績は多大である。

# 功労表彰

自治部門（6名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
久保 賢一	平成23年から10年にわたり別府市農業委員会の委員を務められ、令和元年から現在に至るまで会長として、別府市の農業振興に貢献するとともに、組織的対応のコンプライアンスを確立するために、別府市農業委員会倫理規程の制定に尽力された。また、農業の衰退を防ぐため、新規就農者から相談機会を増やす取組みや、儲かる農業に向け観光と農業の連携を提案するなど、別府市の農業の発展における功績は多大である。
甲斐 文明	平成24年から9年にわたり、別府市固定資産評価審査委員会の委員長として公平公正な職務執行を行い、国税に携わった職務経験及び税理士としての職務経験から、国税・地方税及び税行政に精通されており、別府市の税行政に多大な貢献をされている。
永富 絹代	平成22年から11年にわたり、別府市固定資産評価審査委員会の委員として公平公正な職務執行を行い、国税に携わった職務経験及び税理士としての職務経験から、国税・地方税及び税行政に精通されており、別府市の税行政に多大な貢献をされている。
塩崎 サツキ	平成24年から別府市選挙管理委員会の委員を4年、委員長職務代理者を4年、計8年、選挙管理委員会の委員として、市議会議員、市長選挙及び県、国政選挙に関する管理に携わり、公明かつ適正な選挙と選挙人の政治常識の向上に尽力された。
角田 吉久	平成21年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために登校時に街頭で、交通安全指導に献身的に努め、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある際は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の住民から感謝を受けている。
諸岡 研二	平成21年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために登校時に街頭で、交通安全指導に献身的に努め、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある際は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の住民から感謝を受けている。

# 功労表彰

## 公共福祉部門（20名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
大野 泰徳	平成23年から別府市農業委員会の委員を2期6年、平成29年7月から現在に至るまで別府市農地利用最適化推進委員を務められたほか、平成25年からは、農作業受託組織の「株式会社東山パレット」を地域住民と立ち上げ、代表取締役として重責を担われている。遊休農地の解消や、東山にある自然を観光資源として生かしたウォーキングコースを策定し、ガイドを務めるなど、「農地を守ることが地域を守ることにつながる」という信念のもと地域活性化に尽力されている。
高原 豊彦	平成20年から大分県日本調理技能士会専務理事、令和元年からは理事長として、後進の育成に尽力されており、「若年技能者人材育成支援等事業」の一環として開催される「WAZAチャレンジ教室」では、別府市内小学校においてのものづくりの体験教室を通して、ものづくりの魅力や技能尊重機運の醸成に努められ、技術向上や観光振興に大きく貢献されている。
伊藤 勝記	平成23年5月に別府市管工事協同組合理事に就任され、業界発展のため温泉文化や環境保全についての理解を広め、地域活性化に貢献されており、現在も役員として組織の活性化に尽力されている。
吉松 諄	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、北地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
梶川 不二夫	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、大平山地区民生委員児童委員協議会の会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
朝見 進	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、春木川地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
森田 哲也	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、境川地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
松林 隆通	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、鶴見地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
吉田 彰子	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、南地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。

# 功労表彰

## 公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

氏 名	功 績 内 容
首藤 初美	長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力され、現在は、東山地区民生委員児童委員協議会の副会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に貢献されている。
後藤 一彦	平成17年に保護司の委嘱を受けて以来16年間にわたり、多くの対象者の更生援助に尽力され、「社会を明るくする運動」等の啓発活動や防犯活動にも積極的に取り組み、地域の安全安心を見守る活動に尽力されている。また、保護司活動のみならず、青少年健全育成活動においても積極的な活動を行っており、その功績は多大である。
荒金 修司	平成2年に消防団員拝命後、平成15年に班長へ昇任し、現在、第4分団の班長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は密集地が多く、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
木村 恭介	平成2年に消防団員拝命後、平成12年に班長、平成22年に部長へ昇任し、現在、第3分団の部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
鶴田 浩	平成3年に消防団員拝命後、平成18年に班長、平成24年に部長へ昇任し、現在、第8分団2部の部長として、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は密集地が多く、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
中島 浩	平成3年に消防団員拝命後、平成14年に班長、平成27年に部長、令和3年に副分団長へ昇任し、現在、第6分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅や高層建物が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
佐藤 隆太	平成3年に消防団員拝命後、平成18年に班長、平成27年に部長へ昇任し、現在、第6分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅や高層建物が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
沖崎 明	平成3年に消防団員拝命後、平成11年に班長、平成20年に部長、平成31年に副分団長へ昇任し、現在、第7分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
小田 勝美	平成3年に消防団員拝命後、平成14年に班長、平成22年に部長、平成31年に副分団長へ昇任し、現在、第7分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

## 功労表彰

### 公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
二宮 唯儀	平成3年に消防団員拝命後、平成10年に班長、平成19年に部長へ昇任し、現在、第2分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。
生永 美德	平成3年に消防団員拝命後、平成13年に班長、平成21年に部長、令和2年に副分団長へ昇任し、現在、第5分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードし、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、被害の軽減を図っており、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。

### 教育・文化・スポーツ部門 (4名)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
池邊 栄治	別府市子ども会育成会連合会の会長を12年にわたり務めており、各地域での行事や市の温泉まつりへの参加、子ども会合同での野外体験など様々な貴重な体験を企画されている。また、別府市社会教育関係団体連絡協議会の会長を6年務めており、行政と連携を図りながら、地域の発展にも尽力されている。さらに、公民館活動にも参加し、子どもと地域を繋げる活動を行うなど本市の未来を担う子どもたちの健全育成に携わった功績は多大である。
今山 靖之	平成23年から別府市剣道連盟理事、平成29年から全九州自衛隊剣道連盟理事長を務め、剣道訓練にて指導者として、剣士の育成と技術の向上発展のため尽力され、多くの剣士を輩出している。また自身も平成2年から大分県民体育大会別府市代表選手として18回もの出場を果たしており、剣道の普及・発展における功績は多大である。
茶木 康寛	第87回日本高等学校選手権水泳競技大会、第74回国民体育大会において、別府翔青高等学校飛込部を優勝に導かれた。
川崎 絢平	第93回選抜高等学校野球大会において、明豊高等学校野球部を春夏の甲子園大会を通じて初となる準優勝に導かれた。

# 功労表彰

## 市民活動部門（4団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
日本民踊研究会九州支部	毎年、火の海まつりで開催される納涼音頭大会に50回連続で出演し、市民に対する踊りの指導や会場のスパビーチの清掃を行っているほか、日本文化の発信を行うなど民踊を通じたボランティア活動や環境美化活動に尽力されている。また、東日本大震災や光町大規模火災などの有事の際に寄付を行うなど地域振興における功績は多大である。
パペットキッズ	平成15年から、乳幼児期に親子で触れ合うことや絵本の読み聞かせの大切さを伝えるため、絵本・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター・手袋人形等を用いたお話や、わらべうた等を届けるおはなし会のボランティア活動を行っており、地域福祉における功績は多大である。
つるみボランティアグループ	昭和55年から長きにわたり、高齢者世帯への訪問や別府市身体障害者福祉団体協議会が実施する各種教室等のボランティア、清掃活動、高齢者福祉施設での車いす介助及び移動支援などの積極的なボランティア活動や赤い羽根共同募金・「愛の鍋」歳末たすけあい共同募金の寄付活動を継続されており、地域福祉への功績は顕著である。
東荘園町青壮年会	平成20年から14年間にわたり、東荘園町の住みよいまちづくり・明るいまちづくりの推進と交通安全・事故防止のため地域のカーブミラーの清掃活動に積極的に取り組んでおり、児童や地域住民の情操的効果や安全・安心の地域づくりに貢献されている。